

「下肢閉塞性動脈硬化症(PTAあり)」入院診療計画書

様

特別な栄養管理の必要性 (有・**無**)

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

経過	入院時及び検査当日(検査前)	検査当日(検査後)	退院時
治療について (手術日・退院日など)	入院 午前中もしくは午後手術があります。	*透析患者様の場合、医師の指示で治療後に透析になる場合があります。	
安静度・リハビリについて	病棟内を自由に歩くことができます。 	針を刺した側の足は、4時間から5時間のベッド上安静です。 *足の安静が守れない場合は、紐で固定する事があります。	消毒の後は、自由に歩く事ができます。
食事について	午前に検査がある場合は、朝食が食べられません。 午後には検査がある場合は、昼食が食べられません。 *水分は控えめにして下さい。  控えめに!! *カフェインを含む飲食はできません。(コーヒー・緑茶・紅茶など) 病棟で配られるお茶は飲めます。	手術終了後は造影剤を体外へ早く出す為に、水分を多く摂ってください。 *透析患者様は、医師の指示・今まで通りの水分量で結構です。 手術終了後異常がなければ、寝たままの食事ができます。 検査終了後からカフェインを含む飲食ができます。	食事は朝まで出ます。 *希望にて昼まで出ますが、基本的には午前中退院です。
薬剤について (点滴・内服など)	内服のお薬は指示がない限り、今まで通り飲んで下さい。 点滴を行います。 	医師の指示で点滴は終了です。	薬剤師から退院後の薬の内容と管理について話があります。 
検査について	採血、胸部レントゲン、心電図の検査があります。 (ただし前回、外来受診時に行っている場合は不要です。) 	①医師の指示がない限り、特に検査はありません。 *検査がある場合、治療の評価目的で、四肢の血圧測定等があります。	
処置について (ガーゼの交換など)	身長・体重を測ります。 針を刺す部分を確認してお知らせします。 手と足の動脈がよく触れるか確認して印をつけます。 	適宜、血圧・脈拍・体温を測り、手と足の動脈を確認します。 針を刺した部分を確認します。 	起床後、針を刺した部分を消毒します。 
清潔について (シャワー・入浴など)	毛を剃ったときは、看護師が蒸しタオルで体を拭きます。 爪を切り、マニキュアは取って下さい。 T字帯(ふんどし)をつけ浴衣式の病衣に着替えてお待ち下さい。  		バルーンカテーテルを抜いた後、初回排尿を確認します。
排泄について	バルーンカテーテル挿入前は、歩いてトイレに行くことができます。 検査前にバルーンカテーテルを挿入します 	バルーンカテーテルが挿入されています。	バルーンカテーテルを抜いた後、歩いてトイレへ行けます。 
患者さん及びご家族への説明	看護師から病棟のご案内と治療・検査について説明します。 カテーテル入室の前に必ず、眼鏡・コンタクト・時計・指輪・ヘアピン・入れ歯は外して下さい。 ※不明な点がありましたら、看護師に声をかけて下さい。	検査後もしくは退院前に、医師から検査結果について説明があります。 看護師より退院後の生活について話があります。	

注1) 病名等は、現時点で考えられるものですので、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2)入院期間、表記の日時については現時点での予定です。

注3)ご質問等ございましたら、お気軽にスタッフまで声をかけて下さい。